

(別記)

## 福祉サービス第三者評価結果公表事項（児童養護施設）

### ①第三者評価機関名

社会福祉法人 愛媛県社会福祉協議会

### ②施設名等

名称：社会福祉法人 親和園 児童養護施設 親和園	種別：児童養護施設
施設長氏名：新家 金吾	定員：105名
所在地：松山市中野町甲916番地	TEL 089(963)8816

### ③実施調査日

平成27年1月16日（金）～ 17日（土）

### ④総評

#### ◇特に評価が高い点

昭和28年、養護施設私立朝美親和園を開設し、昭和35年に社会福祉法人親和園として認可された。平成20年、現在の松山市中野町に移転し、現在に至る。

スポーツ活動を通して子どもたちの心身の健全な発達を促し、協調性や思いやりの心を育みながら養育支援に努めていることは大いに評価できる。アンケート等から子どもの生活の満足度が高いことを伺い知ることができる。

また、不適切な関わりの防止や、発達障害児支援への意欲、地域連携(久谷地区青少年健全育成連絡協議会)への参加、看護師の配置等もなされており評価できる。

#### ◇改善が求められる点

職員教育・育成に関する体系的な基本姿勢に基づいた教育・研修計画を作成し、職員一人ひとりに応じたキャリア形成ができるよう、取組みに期待したい。

「事故発生時対応マニュアル」等を策定し職員に周知するとともに、事故報告書やヒヤリハット報告書の事例分析をし、子どもが安心して安全に暮らせる環境をさらに整えるよう取組みに期待したい。

### ⑤第三者評価結果に対する施設のコメント

今回、初めて第三者評価を受審したことにより、当園の現状をより把握することができました。

今後は、この評価結果をもとに、全職員が意識を統一して改善すべき点は改善し、今以上に児童への養育支援ができるよう努め、更なる児童福祉の向上を目指したいと思っております。

### ⑥第三者評価結果（別紙）

## 第三者評価結果（児童養護施設）

### 1 養育・支援

(1) 養育・支援の基本	第三者評価結果
① 子どもの存在そのものを認め、子どもが表出する感情や言動をしっかり受け止め、子どもを理解している。	a・ <b>b</b> ・c
② 基本的欲求の充足が、子どもと共に日常生活を構築することを通してなされるよう養育・支援している。	a・ <b>b</b> ・c
③ 子どもの力を信じて見守るという姿勢を大切にし、子どもが自ら判断し行動することを保障している。	a・ <b>b</b> ・c
④ 発達段階に応じた学びや遊びの場を保障している。	<b>a</b> ・b・c
⑤ 秩序ある生活を通して、基本的生活習慣を確立するとともに、社会常識及び社会規範、様々な生活技術が習得できるよう養育・支援している。	a・ <b>b</b> ・c
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点)</p> <p>子どもとの信頼関係に基づいた職員や施設の取組みにより、基本的欲求が充足されていることがアンケート結果にも表れている。また、大半の子どもが職員の接し方や関わり方に満足していることは高く評価できる。</p> <p>発達段階に応じて、幼稚園への就園や特別支援学級・特別支援学校への就学が実施されており、一人ひとりの子どもに応じた発達支援に取り組んでいる。</p> <p>今後は、職員の配置をさらに見直すことによって、子どもへの支援がさらに深まることを期待したい。</p>	
(2) 食生活	第三者評価結果
① 食事は、団らんの場でもあり、おいしく楽しみながら食事ができるよう工夫している。	<b>a</b> ・b・c
② 子どもの嗜好や健康状態に配慮した食事を提供している。	<b>a</b> ・b・c
③ 子どもの発達段階に応じて食習慣を身につけることができるよう食育を推進している。	a・ <b>b</b> ・c
(3) 衣生活	
① 衣服は清潔で、体に合い、季節に合ったものを提供している。	<b>a</b> ・b・c
② 子どもの衣習慣を習得し、衣服を通じて適切に自己表現できるように支援している。	<b>a</b> ・b・c
(4) 住生活	
① 居室等施設全体がきれいに整美されている。	<b>a</b> ・b・c
② 子ども一人一人の居場所が確保され、安全、安心を感じる場所となるようにしている。	<b>a</b> ・b・c

(特に評価が高い点、改善が求められる点)

衣食住環境は、安心・安全・清潔・心地よさ等に十分に配慮されている。洗濯・清掃等業務については、職員が行うだけでなく隣接する同法人の障害者施設に一部委託をしており、職員の負担軽減と清潔の保持がなされている。

(5) 健康と安全	第三者評価結果
① 発達段階に応じ、身体の健康（清潔、病気、事故等）について自己管理ができるよう支援している。	a・ <b>ⓑ</b> ・c
② 医療機関と連携して一人一人の子どもに対する心身の健康を管理するとともに、異常がある場合は適切に対応している。	<b>ⓐ</b> ・b・c
(6) 性に関する教育	
① 子どもの年齢・発達段階に応じて、異性を尊重し思いやりの心を育てるよう、性についての正しい知識を得る機会を設けている。	a・ <b>ⓑ</b> ・c
(特に評価が高い点、改善が求められる点)	
看護師を中心に、感染予防マニュアルの作成や医療機関との連携が図れている。また、子どもの平常時の健康状態も予防的視点から把握する仕組みができています。 性教育についても、年齢に応じて正しい知識が持てるよう努力がなされている。日常的には、問題があればその都度振り返りを行っているが、計画的な指導カリキュラムの検討も合わせて行われることを望みたい。	

(7) 自己領域の確保	第三者評価結果
① でき得る限り他児との共有の物をなくし、個人所有とするようにしている。	a・ <b>ⓑ</b> ・c
② 成長の記録（アルバム）が整理され、成長の過程を振り返ることができるようにしている。	a・ <b>ⓑ</b> ・c
(8) 主体性、自律性を尊重した日常生活	
① 日常生活のあり方について、子ども自身が自分たちの問題として主体的に考えるよう支援している	a・ <b>ⓑ</b> ・c
② 主体的に余暇を過ごすことができるよう支援している。	a・ <b>ⓑ</b> ・c
③ 子どもの発達段階に応じて、金銭の管理や使い方など経済観念が身につくよう支援している。	a・ <b>ⓑ</b> ・c
(特に評価が高い点、改善が求められる点)	
余暇活動支援として、部活やスポーツ活動（野球・柔道等）、琴、日舞等に積極的に取り組んでいる。 共有物を少なくする、子どもの主体性を尊重する、経済観念を育てる等、施設の支援の方向性が定められ、取り組みもなされている。 一人ひとりの子どもに応じた生い立ちの振り返りや成長の記録の整理については、今後の課題として認識しているため、適切な振り返りの手法や記録の整理がなされることを期待したい。	

(9) 学習・進学支援、進路支援等	第三者評価結果
① 学習環境の整備を行い、学力等に応じた学習支援を行っている。	a・ <b>ⓑ</b> ・c
② 「最善の利益」にかなった進路の自己決定ができるよう支援している。	a・ <b>ⓑ</b> ・c
③ 職場実習や職場体験等の機会を通して、社会経験の拡大に取り組んでいる。	a・ <b>ⓑ</b> ・c
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点)</p> <p>学校との連携を図り、一人ひとりの子どもに応じた学習支援や進路選択が行われている。基礎学習力を高めるために学習ボランティアや塾の活用も図られている。</p> <p>また、基本的にアルバイト体験を奨励しており、個々の状況に合わせて社会経験の拡大に努めている。</p> <p>今後は、職場体験やアルバイト体験に関する実施規程等を文書化し、施設の基本的な方針や考え方を職員や子どもに周知する取組みが図られことを期待したい。</p>	

(10) 行動上の問題及び問題状況への対応	第三者評価結果
① 子どもが暴力・不適応行動などの問題行動をとった場合に、行動上の問題及び問題状況に適切に対応している。	<b>Ⓐ</b> ・b・c
② 施設内で子ども間の暴力、いじめ、差別などが生じないよう施設全体で取り組んでいる。	<b>Ⓐ</b> ・b・c
③ 虐待を受けた子ども等、保護者からの強引な引き取りの可能性がある場合、施設内で安全が確保されるよう努めている。	<b>Ⓐ</b> ・b・c
<p>(11) 心理的ケア</p>	
① 心理的ケアが必要な子どもに対して心理的な支援を行っている。	<b>Ⓐ</b> ・b・c
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点)</p> <p>適切な対応を図るために、虐待防止委員会と虐待防止実務担当者会において子どもの問題行動等に迅速に対応する仕組みができている。</p> <p>特別な配慮や支援を必要とする子どもについては、児童相談所と連携して対応がなされている。</p> <p>また、保護者からの強引な引き取りの可能性がある場合の対応方法や、心理療法担当職員を配置するなど心理的ケアを必要とする場合の支援体制が構築されている。</p>	

(12) 養育の継続性とアフターケア	第三者評価結果
① 措置変更又は受入れに当たり継続性に配慮した対応を行っている。	a・ <b>ⓑ</b> ・c
② 家庭引き取りに当たって、子どもが家庭で安定した生活を送ることができるよう家庭復帰後の支援を行っている。	a・ <b>ⓑ</b> ・c
③ できる限り公平な社会へのスタートが切れるように、措置継続や措置延長を積極的に利用して継続して支援している。	a・ <b>ⓑ</b> ・c
④ 子どもが安定した社会生活を送ることができるよう退所後の支援に積極的に取り組んでいる。	a・ <b>ⓑ</b> ・c

(特に評価が高い点、改善が求められる点)

アフターケアについては、多様化する子どもや家庭の状況、職員の人員配置等の厳しい状況の中でできる範囲のことを行っている。

養育の継続性を図るために、措置変更後の窓口対応職員の明確化や引継ぎ手順や申し送り事項の様式策定などを検討し、充実した取組みがなされるよう今後の取組みに期待したい。

また、退所後の現況記録等を作成したり、一人立ちハンドブックの活用と自立への準備の計画的実施に向けた取組みについても検討がなされるよう期待したい。

## 2 家族への支援

(1) 家族とのつながり	第三者評価結果
① 児童相談所や家族の住む市町村と連携し、子どもと家族との関係調整を図ったり、家族からの相談に応じる体制づくりを行っている。	Ⓐ・b・c
② 子どもと家族の関係づくりのために、面会、外出、一時帰宅などを積極的に行っている。	a・Ⓑ・c
(2) 家族に対する支援	
① 親子関係の再構築等のために家族への支援に積極的に取り組んでいる。	a・Ⓑ・c

(特に評価が高い点、改善が求められる点)

家庭支援専門相談員を配置し、家族への支援に努めている。また、親子生活訓練室の活用、面会・外出・一時帰宅等の保護者との関わりも規程に基づき実施している。

今後は、保護者を含めたケース会議やカンファレンスを、必要に応じて児童相談所と連携を図りつつ実施されるよう取組みに期待したい。

## 3 自立支援計画、記録

(1) アセスメントの実施と自立支援計画の策定	第三者評価結果
① 子どもの心身の状況や、生活状況を把握するため、手順を定めてアセスメントを行い、子どもの個々の課題を具体的に明示している。	a・Ⓑ・c
② アセスメントに基づいて子ども一人一人の自立支援計画を策定するための体制を確立し、実際に機能させている。	a・Ⓑ・c
③ 自立支援計画について、定期的実施状況の振り返りや評価と計画の見直しを行う手順を施設として定め、実施している。	a・Ⓑ・c
(2) 子どもの養育・支援に関する適切な記録	
① 子ども一人一人の養育・支援の実施状況を適切に記録している。	a・Ⓑ・c
② 子どもや保護者等に関する記録の管理について、規程を定めるなど管理体制を確立し、適切に管理を行っている。	a・Ⓑ・c
③ 子どもや保護者等の状況等に関する情報を職員が共有するための具体的な取組を行っている。	a・Ⓑ・c

(特に評価が高い点、改善が求められる点)

自立支援計画を策定し、一人ひとりの子どもの課題を明示している。

今後は、自立支援計画に沿った記録、実施後の検証や見直しの手順を明確にするなどの取組みに期待したい。また、記録の適切な管理に関する規程を職員に周知徹底する取組みについても検討されるよう期待したい。

## 4 権利擁護

(1) 子どもの尊重と最善の利益の考慮	第三者評価結果
① 子どもを尊重した養育・支援についての基本姿勢を明示し、施設内で共通の理解を持つための取組を行っている。	a・b・c
② 社会的養護が子どもの最善の利益を目指して行われることを職員が共通して理解し、日々の養育・支援において実践している。	a・b・c
③ 子どもの発達に応じて、子ども自身の出生や生い立ち、家族の状況について、子どもに適切に知らせている。	a・b・c
④ 子どものプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備し、職員に周知するための取組を行っている。	a・b・c
⑤ 子どもや保護者の思想や信教の自由を保障している。	a・ - ・ c
(2) 子どもの意向への配慮	
① 子どもの意向を把握する具体的な仕組みを整備し、その結果を踏まえて、養育・支援の内容の改善に向けた取組を行っている。	a・b・c
② 職員と子どもが共生の意識を持ち、子どもの意向を尊重しながら生活全般について共に考え、生活改善に向けて積極的に取り組む。	a・b・c
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点)</p> <p>子どもを尊重した養育・支援について、基本姿勢が明示・周知されている。また、子どもや保護者の思想や信教の自由を保障している。</p> <p>今後は、子どもの意向を把握する仕組みをさらに充実させるとともに、子ども自身が日課や施設内のルール等の生活に関する改善などに、自主性を持って関わっていただけるような取組みに期待したい。</p>	
(3) 入所時の説明等	第三者評価結果
① 子どもや保護者等に対して、養育・支援の内容を正しく理解できるような工夫を行い、情報の提供を行っている。	a・b・c
② 入所時に、施設で定めた様式に基づき養育・支援の内容や施設での約束ごとについて子どもや保護者等にわかりやすく説明している。	a・b・c
③ 子どものそれまでの生活とのつながりを重視し、そこから分離されるに伴う不安を理解し受けとめ、不安の解消を図っている。	a・b・c
(4) 権利についての説明	
① 子どもに対し、権利について正しく理解できるよう、わかりやすく説明している。	a・b・c
(5) 子どもが意見や苦情を述べやすい環境	
① 子どもが相談したり意見を述べたりしたい時に相談方法や相談相手を選択できる環境を整備し、子どもに伝えるための取組を行っている。	a・b・c
② 苦情解決の仕組みを確立し、子どもや保護者等に周知する取組を行うとともに、苦情解決の仕組みを機能させている。	a・b・c
③ 子ども等からの意見や苦情等に対する対応マニュアルを整備し、迅速に対応している。	a・b・c

(6) 被措置児童等虐待対応	
① いかなる場合においても体罰や子どもの人格を辱めるような行為を行わないよう徹底している。	Ⓐ . . . c
② 子どもに対する暴力、言葉による脅かし等の不適切なかかわりの防止と早期発見に取り組んでいる。	Ⓐ . b . c
③ 被措置児童等虐待の届出・通告に対する対応を整備し、迅速かつ誠実に対応している。	Ⓐ . b . c
(7) 他者の尊重	
① 様々な生活体験や多くの人たちとのふれあいを通して、他者への心づかいや他者の立場に配慮する心が育まれるよう支援している。	Ⓐ . b . c
(特に評価が高い点、改善が求められる点)	
<p>権利擁護のために、子どもが相談したり意見を述べやすい施設環境づくりに努めるよう取り組まれている。また、職員による不適切な関わりを防止する取組みを施設全体で積極的かつ継続的に実施している。</p> <p>今後は、子どもからの意見や苦情等に対する対応マニュアルを整備するなどの新たな取組みがなされるよう期待したい。</p>	

## 5 事故防止と安全対策

	第三者評価結果
① 事故、感染症の発生時など緊急時の子どもの安全確保のために、組織として体制を整備し、機能させている。	a . Ⓑ . c
② 災害時に対する子どもの安全確保のための取組を行っている。	Ⓐ . b . c
③ 子どもの安全を脅かす事例を組織として収集し、要因分析と対応策の検討を行い、子どもの安全確保のためにリスクを把握し対策を実施している。	a . Ⓑ . c
(特に評価が高い点、改善が求められる点)	
<p>「感染症予防マニュアル」や看護師による薬の管理、「防災マニュアル」の策定等、平常時からの予防対策や緊急時の対応に努めている。また、業者による遊具等の点検や、通学路の検証が職員により実施されている。</p> <p>今後は、「事故発生時対応マニュアル」等を策定し職員に周知するとともに、事故報告書やヒヤリハット報告書の事例分析をしリスクの把握を行うなど、今以上に子どもが安心して安全に暮らせる環境を整えるよう、取組みに期待したい。</p>	

## 6 関係機関連携・地域支援

(1) 関係機関等の連携	第三者評価結果
① 施設の役割や機能を達成するために必要となる社会資源を明確にし、児童相談所など関係機関・団体の機能や連絡方法を体系的に明示し、その情報を職員間で共有している。	a . Ⓑ . c
② 児童相談所等の関係機関等との連携を適切に行い、定期的な連携の機会を確保し、具体的な取組や事例検討を行っている。	a . Ⓑ . c
③ 幼稚園、小・中学校、高等学校、特別支援学校など子どもが通う学校と連携を密にしている。	Ⓐ . b . c

<b>(2) 地域との交流</b>	
① 子どもと地域との交流を大切にし、交流を広げるための地域への働きかけを行っている。	a・ <b>ⓑ</b> ・c
② 施設が有する機能を地域に開放・提供する取組を積極的に行っている。	a・ <b>ⓑ</b> ・c
③ ボランティア受入れに対する基本姿勢を明確にし、受入れについての体制を整備している。	a・ <b>ⓑ</b> ・c
<b>(3) 地域支援</b>	
① 地域の具体的な福祉ニーズを把握するための取組を積極的に行っている。	a・ <b>ⓑ</b> ・c
② 地域の福祉ニーズに基づき、施設の機能を活かして地域の子育てを支援する事業や活動を行っている。	a・ <b>ⓑ</b> ・c
(特に評価が高い点、改善が求められる点)	
<p>学校や児童相談所との連絡や連携が図られている。久谷地区青少年健全育成連絡協議会に参加し関係機関との連携が充実しており、地域行事への参加も進んでいる。</p> <p>今後は、ボランティア受入れについての基本マニュアルを作成し、より適切な対応ができるよう取組みに期待したい。</p>	

## 7 職員の資質向上

	第三者評価結果
① 組織として職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	a・ <b>ⓑ</b> ・c
② 職員一人一人について、基本姿勢に沿った教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取組が行われている。	a・b・ <b>Ⓒ</b>
③ 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行い、次の研修計画に反映させている。	a・ <b>ⓑ</b> ・c
④ スーパービジョンの体制を確立し、施設全体として職員一人一人の援助技術の向上を支援している。	a・ <b>ⓑ</b> ・c
(特に評価が高い点、改善が求められる点)	
<p>職務を通しての研修(OJT)やスーパービジョン体制を確立し、施設として職員の援助技術やチームワークの向上に努めている。</p> <p>今後は、職員教育・育成に関する体系的な基本姿勢に基づいた教育・研修計画を作成し、職員一人ひとりの経験年数や保有資格に応じたキャリア形成ができるよう、取組みに期待したい。</p>	

## 8 施設の運営

<b>(1) 運営理念、基本方針の確立と周知</b>	第三者評価結果
① 法人や施設の運営理念を明文化し、法人と施設の使命や役割が反映されている。	<b>Ⓐ</b> ・b・c
② 法人や施設の運営理念に基づき、適切な内容の基本方針が明文化されている。	<b>Ⓐ</b> ・b・c
③ 運営理念や基本方針を職員に配布するとともに、十分な理解を促すための取組を行っている。	a・ <b>ⓑ</b> ・c
④ 運営理念や基本方針を子どもや保護者等に配布するとともに、十分な理解を促すための取組を行っている。	a・ <b>ⓑ</b> ・c



(2) 中・長期的なビジョンと計画の策定	
① 施設の運営理念や基本方針の実現に向けた施設の中・長期計画が策定されている。	a・ <b>b</b> ・c
② 各年度の事業計画は、中・長期計画の内容を反映して策定されている。	a・ <b>b</b> ・c
③ 事業計画を、職員等の参画のもとで策定されるとともに、実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われている。	a・ <b>b</b> ・c
④ 事業計画を職員に配布するとともに、十分な理解を促すための取組を行っている。	<b>a</b> ・b・c
⑤ 事業計画を子ども等に配布するとともに、十分な理解を促すための取組を行っている。	a・ <b>b</b> ・c
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点)</p> <p>法人や施設の運営理念を明文化し、法人と施設の使命や役割、基本方針について明示されている。また、事業計画も策定され職員に周知にされている。</p> <p>中・長期計画については、制度改正等で作成しづらい面もあるが、法人や施設の運営理念や基本方針を基に、作成されるよう期待したい。</p> <p>また、事業計画は実現可能な活動や数値目標などを取り入れ、より具体的なものとなるよう検討がなされることを期待したい。</p>	

(3) 施設長の責任とリーダーシップ	第三者評価結果
① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して明らかにし、専門性に裏打ちされた信念と組織内での信頼をもとにリーダーシップを発揮している。	a・ <b>b</b> ・c
② 施設長自ら、遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行い、組織全体をリードしている。	a・ <b>b</b> ・c
③ 施設長は、養育・支援の質の向上に意欲を持ち、組織としての取組に十分な指導力を発揮している。	a・ <b>b</b> ・c
④ 施設長は、経営や業務の効率化と改善に向けた取組に十分な指導力を発揮している。	<b>a</b> ・b・c
(4) 経営状況の把握	
① 施設運営をとりまく環境を的確に把握するための取組を行っている。	a・ <b>b</b> ・c
② 運営状況を分析して課題を発見するとともに、改善に向けた取組を行っている。	a・ <b>b</b> ・c
③ 外部監査（外部の専門家による監査）を実施し、その結果に基づいた運営改善が実施されている。	a・b・ <b>c</b>
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点)</p> <p>施設長は、遵守すべき法令等を正しく理解することに努めている。人事・労務・財務等の運営はもとより、養育・支援の質の向上にもリーダーシップを発揮している。</p> <p>施設運営の透明性をさらに確保する観点から、外部の専門家による監査について可能な限り実施できるよう今後の取組みに期待したい。</p>	

(5) 人事管理の体制整備	第三者評価結果
① 施設が目標とする養育・支援の質を確保するため、必要な人材や人員体制に関する具体的なプランが確立しており、それに基づいた人事管理が実施されている。	a・ <b>b</b> ・c
② 客観的な基準に基づき、定期的な人事考課が行われている。	<b>a</b> ・b・c
③ 職員の就業状況や意向を定期的に把握し、必要があれば改善に取り組む仕組みが構築されている。	a・ <b>b</b> ・c
④ 職員処遇の充実を図るため、福利厚生や健康を維持するための取組を積極的に行っている。	a・ <b>b</b> ・c
(6) 実習生の受入れ	
① 実習生の受入れと育成について、基本的な姿勢を明確にした体制を整備し、効果的なプログラムを用意する等積極的な取組をしている。	a・ <b>b</b> ・c
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点)</p> <p>個別対応職員や家庭支援専門相談員、心理療法担当職員、看護師の配置など職員態勢の充実が図られている。人事考課については「自己申告書」を提出し、施設長等による個別面談が実施されている。また、福利厚生センターへの加入により、職員の福利厚生に留意している。</p> <p>実習生の積極的な受入れとマニュアルの整備がなされている。</p> <p>今後は、職員の就業状況の課題や問題点を把握し、改善するための体制や仕組みづくりがなされることを期待したい。</p> <p>また、実習指導者に対する研修の実施等についても検討し、効果的なプログラムを用意する等さらなる取組みに期待したい。</p>	

(7) 標準的な実施方法の確立	第三者評価結果
① 養育・支援について標準的な実施方法を文書化し、職員が共通の認識を持って行っている。	a・ <b>b</b> ・c
② 標準的な実施方法について、定期的に検証し、必要な見直しを施設全体で実施できるよう仕組みを定め、検証・見直しを行っている。	a・b・ <b>c</b>
(8) 評価と改善の取組	
① 施設運営や養育・支援の内容について、自己評価、第三者評価等、定期的に評価を行う体制を整備し、機能させている。	<b>a</b> ・b・c
② 評価の結果を分析し、施設として取り組むべき課題を明確にし、改善策や改善実施計画を立て実施している。	a・b・ <b>c</b>
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点)</p> <p>不適切な関わりを防止するための養育・支援に関するマニュアルの作成に積極的に取り組んでいる。</p> <p>また、施設運営や養育・支援の内容について、自己評価、第三者評価等を行う体制が整備され機能している。</p> <p>今後は、養育・支援(食生活・学習・進路・家族への支援等)について、標準的な実施方法の見直しや検証の仕組みづくりに取り組むことを期待したい。</p>	